



発行所 公益社団法人 高知県診療放射線技師会
発行人 会長 巴 昭彦
事務局 〒780-0850
高知市丸ノ内1丁目7番45号
総合あんしんセンター2階
TEL 088-872-4585

所 感

『北京オリンピック』

学術担当 見田 秀次

開催前は、コロナの広がり与人権問題で賛否があった冬季オリンピックですが、盛り上がりの中閉会しました。時差も少なくテレビ観戦をされた会員の方も多かったことと思います。日本選手団としては過去最高のメダル獲得数となりスノーボードやカーリングは私もドキドキしながらテレビにかじりついていました。コロナ禍で自粛を強いられストレスのたまる毎日ですが、そんな中でも興奮と感動を与えてくれたスポーツの持つ力には改めて驚かされました。今年の冬は例年に比べ雪も多く本来ならウィンタースポーツが盛り上がるはずだったので残念です。しかしそんな中私事ですが、久しぶりにスキーに出かけてみました。感染を避け、車で大山まで行き車中泊。ご飯も車でコンビニ弁当と少々貧乏くさかったのですが、真っ白な雪山とゲレンデに心躍り、滑り始めるとコロナの事など頭から消えただただ気持ちのよさがわいてきました。勿論不織布のマスクを口にして(笑)。一人きりだったので帰りは眠気との戦いでしたが、最高のストレス解消となりました。

今年度は、高知県においても告示研修が開催されます。告示研修は、基礎研修と実技研修からなり、実技研修を受講するためには、基礎研修の終了が条件となっています。放射線技師の中でもいろいろなご意見が出ていますが、診療放射線技師の業務拡大にかかる法改正が行われたことにより、放射線技師は告示研修を受けることが義務となっています。オリンピックのように感動も興奮もありますが、チーム医療を担うものとしては、患者の為にも自分の為にも、そして他職種の為にも必要なことだと考えましょう。きっとその先には金メダルがあると信じて。…いや、多分…。

今、高知県技師会としても準備の真最中です。少しでも多くの会員の皆様に、スムーズに研修を受けていただくため頑張っています。感動は良いですから共感して下さればと日々準備に勤しんでいます。

4年後はイタリアで3度目の冬季オリンピックです。その時の放射線技師の立ち位置がどのようになっているかは皆様の頑張りにかかっているのではないのでしょうか。オリンピックの感動はそれまでの選手のひたむきな努力があってこそ生まれます。私たち技師も、次のステップに向けて努力してみても良いと思いますが、皆様はどうでしょうか。

会の動き

事務局会

令和4年2月1日(火)、本会事務局にて事務局会を開催した。

会計処理および事務所の整理整頓並びに告示研修に向けての打ち合わせを感染対策の上行った。

お知らせ

高知県放射線技師会 技師長会についてのお知らせ

下記の日程で技師長会を行います。テーマは「令和4年度高知県告示研修の説明」となります。令和3年7月9日医政発0709第7号「臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令等の公布について」が厚生労働省医政局長より発出され、業務範囲の見直しが行われたことに伴い、現在診療放射線技師の免許を所持する者が、今回追加された行為を行おうとするときは、あらかじめ、厚生労働大臣が指定する研修の受講が義務付けられました。

内容としては、今後の診療放射線技師のあり方に係る内容となり、今後の研修予定と方法についての説明となり、技師長のみという参加枠は設けておりませんので、お気軽に参加していただきたいと思えます。

日 時	令和4年3月12日(土) 16:30-17:30
開催方法	ZoomによるWeb開催
テーマ	令和4年度高知県告示研修の説明会
司 会	中村副会長、大野副会長
コメンテータ	ファシリテーター一同

注意事項

- Zoomを使用しますので、あらかじめソフトのインストールをお願いします。
- 参加会場への入室にかかるミーティング ID/Pass につきましては以下の高知県放射線技師会ホームページに掲載の案内より確認いただけます。
- 高知県診療放射線技師会ホームページ

<http://www.kochi-art.org/top.html>

本会 HP の技師長会の案内記事の【ID/Pass】よりご参加をお願いします。

！ルー エッセー！

その213（近森病院：西田 和弘）

医療センターの池 央さんからバトンを受け取りました、近森病院の西田 和弘と申します。「にしだ」ではなく「にした」と読みます。珍しくないようで珍しい名字です。

池さんとは同期で、今でも連絡を取り合う仲です。皆さん池さんの名前の読み方気になりませんでしたか？僕も最初わかりませんでした。「あきら」と読みます。（勝手に紹介してごめんなさい）これを機に同期コンビを覚えてください、「にした」と「あきら」です。

さて、子供が生まれた事をきっかけに家を建てることとなりました。大豪邸とは程遠いですが夢のマイホームです。

高知で住むからには地震に強い家をと考え、工務店やハウスメーカーの見学に何度も足を運びました。ところが各社の特色や扱う建築方法は様々で、それぞれのメリット・デメリットを知り決めかねているなか、「SE工法」に出会いました。

名前が決め手と言ったら過言ですが、まさに MRI 脳がくすぐられる名前で、正式には“Safety Engineering “…「工学的に安全な工法」という意味です。ラーメン工法に加えて構造計算を行うのが特徴です。ラーメンと美味しそうな名前ですが、ドイツ語の”Rahmen “「額縁」に由来し、額縁のように柱や梁をあわせ荷重を支える工法です。本来は鉄骨を用いるビルやマンションなどで採用される工法ですが、同程度の強度を誇る構造木材と SE 金物を用いて建築します。また構造計算を行い設計するため、災害に対して変形や倒壊しないかを工学的に明確化し、強さの数値化を行います。そのため、耐震性が高いまま、最大 9.1m柱間を飛ばせる大開口の家を作れるというのです。地震にも強く、大きなリビングを作れる点が気に入り、SE工法で建築中です。今新築をご検討中のMRI好きな技師さん、おすすめですよ！

引き渡しはまだですが、自分の考えた家が形になっていく事に感動しつつ、完成までの日を楽しみに待ちたいと思います。

話も長くなったのでそろそろ次の方にバトンを。これからローン地獄が始まるため、池さんの「かね」の話が非常に気になりバトンを戻そうかと思いましたが、近森病院の後輩である片岡 巧くんバトンを渡したいと思います。快く(?)引き受けてくれました。彼は最近 MT 車を購入し車の事を楽しそうに話してくれます。いつか男だけのむさ苦しいドライブに連れて行ってもらおうかな。「それでは近森病院片岡 巧くんバトンタッチ！」

総務報告（令和4年1月31日現在）

1. 高知県の会員数	<u>204</u> 名
2. 令和3年度会費納入者	<u>190</u> 名
賛助会員	<u>7</u> 社
3. 令和2年度会費納入者	<u>11</u> 名
4. 令和3年度新入会員数	<u>12</u> 名
(今月の新入会)	<u>0</u> 名
5. 令和3年度再入会員数	<u>0</u> 名
(今月の再入会)	<u>0</u> 名
6. 令和3年度退会者数	<u>4</u> 名
(今月の退会者)	<u>2</u> 名
7. 令和3年度転出者数	<u>0</u> 名
8. 令和3年度転入者数	<u>1</u> 名
(今月の転入会者)	<u>0</u> 名

(文責編集広報)